

「山下太郎地域文化奨励賞」受賞者一覧

(2025年9月30日現在)

受賞年	回	受賞者	受賞時の役職 (団体は代表者名)	研究・活動テーマ
1992年	第 1 回	千葉 三 郎	秋田市史編纂室嘱託	大正末期までに秋田県内で発行された文芸同人雑誌を検索・搜集し、秋田地方の文芸史を体系的に構築
		横手平鹿国語研究会	代表 佐々木 温	小・中学校における国語教育の指導実践及び先導試行的な研究の実践
		佐 川 君 子	平鹿町立醍醐小学校 教諭	中学校理科学習の教材として、地域産業に大きく関わる酸性雨の実態を調査し、その実情を明らかにする
1993年	第 2 回	田 村 巳代治		郷土が生んだ先人・根本通明の研究と顕彰
		河 田 竹 治	鷹巣町立綴子小学校 非常勤講師	埋没しようとしている秋田の方言・童歌・民話を発掘保存し、伝承する
		出 雲 紀 行	大森町立大森中学校 教諭	理科におけるパソコンの利用について研究、実践
1994年	第 3 回	大 坂 吉 邦	秋田県立六郷高等学校 教諭	秋田県南地方に於ける中世史の発掘
		原 田 明 美		どの子にも夢を、豊かな心を
		田 中 玲 子	秋田短期大学教授	秋田県を中心とする食生活の現状
1995年	第 4 回	保呂羽音楽祭 実行委員会	代表 坂本 昌	音楽のあふれる町をめざして — 保呂羽音楽祭の計画と実践 —
		秋田姓氏家系研究会	代表 杉澤 文治	秋田に関わる姓氏・家系・系図とすべての歴史を研究
		大森町保育研究会	代表 鈴木 郁子	「大森の昔っこ」No.1～No.3をOHPにまとめ、保育園児のみならず小学生や保護者を対象に映写する

受賞年	回	受賞者	受賞時の役職 (団体は代表者名)	研究・活動テーマ
1996年	第5回	黒沢一元	秋田県立 大曲工業高等学校教諭	パソコンCADの有効利用とその普及に関する研究
1997年	第6回	秋田雪の会	会長 奈良洋	雪の寒さにまつわる調査・研究、雪国秋田における快適生活環境づくり
		森田 溥	横手市立図書館長	郷土ゆかりの作家の研究
1998年	第7回	石井露月研究会	代表 工藤一紘	俳人・石井露月の研究 ー高校生の伝承活動を軸にー
		大森町立大森中学校	代表 藤原正	豊かな心と広い視野を持つ生徒の育成 ー生徒一人一人が生き生きと学ぶ指導方法の工夫改善ー
1999年	第8回	牧野紋吉・四子吉顕彰会	会長 梅津清一	牧野親子の業績調査と公開
		秋田食文化研究会	会長 奈良洋	健康的な長寿社会を現出する食文化の形成に関する研究
2000年	第9回	吉岡尚史	秋田大学医学部 法医学講座教授	秋田県における自殺の実態と予防対策の検討
		大森町菅江真澄研究会	代表 菊池彰	大森町における菅江真澄の研究
2001年	第10回	(該当なし)		
2002年	第11回	秋田県彫刻連盟	会長 小柳力	彫刻芸術への関心を高め、その普及を図って
2003年	第12回	由利忠四郎	秋田大学教育文化 学部非常勤講師	地域における社会教育・生涯学習の実践的研究
		眞壁 淳	秋田県立海洋技術 高等学校教諭	生徒の主体的な学習活動を促進する各種ソフトウェア(ネットワーク対応型ソフトウェアを含む)の開発と実践

受賞年	回	受賞者	受賞時の役職 (団体は代表者名)	研究・活動テーマ
2004年	第13回	横手市金沢八幡宮 伝統掛唄保存会	会長 加藤 義男	横手市金沢八幡宮に伝わる伝統芸能「掛唄」の保存継承、並びに県無形民俗文化財指定15周年記念事業の推進
		川 越 良 明	(社)横手市シルバー人材センター常務理事	横手時代の石橋湛山
2005年	第14回	佐 藤 好 攻	秋田県文化財保護協会 西仙北支部会員	古文書を基にした郷土の歴史研究
2006年	第15回	小田嶋 幸 子	染織家	草木染めによる染色
2007年	第16回	佐 藤 清太郎	秋田森の会「風のハーモニー」代表幹事	地域の重要な資源である森林の多面的な活用(森林・地域・教育文化的活用と実践)
		保呂羽音楽祭 実行委員会	委員長 木村 芳孝	保呂羽音楽祭の開催(音楽を愛する青少年の育成と地域文化の向上)
2008年	第17回	築 瀬 均	湯沢市立 湯沢西小学校教諭	忘れゆく先覚に光を(長年埋もれていた郷土の先覚者の生涯を掘り起こすとともに、世に紹介し顕彰する)
		倉 田 鉄 也	陶芸家	倉田窯「花蓮を見る会」
2009年	第18回	薄 井 伯 征	大潟村干拓博物館 学芸員	地域の歴史を後世に伝えるための教育教材開発の実践研究
	設立20周年 記念特別賞	小 野 剛	横手市立大森病院長	横手市大森町における地域包括ケアシステムの構築と展開
2010年	第19回	(該当なし)		
2011年	第20回	NPO「豊川をヨイショする会」	理事長 佐々木 栄一	豊川油田における天然アスファルト採掘の歴史を明らかにし、石油操業施設等の保存・活用
2012年	第21回	八沢木獅子舞保存会	会長 菊地 一男	地域の貴重な文化遺産である伝統民俗芸能「八沢木獅子舞」の保存・継承

受賞年	回	受賞者	受賞時の役職 (団体は代表者名)	研究・活動テーマ
2013年	第22回	横手星の会	会長 武市 徹也	天文教育普及の実践研究
2014年	第23回	横手郷土史研究会	会長 吉沢 昂	市民の生涯学習を援ける開かれた研究会をめざして
2015年	第24回	小林 清一郎	郷土史研究家	岩城氏の隠れた歴史発掘と研究 ～岩城氏縁りの歴史発掘に努め調査・研究を続ける～
2016年	第25回	(該当なし)		
2017年	第26回	由理柵・駅家研究会	代表 小松 正夫	幻の由理柵・駅家の探索と研究
2018年	第27回	了翁禅師研究会	会長 高久 正吉	了翁禅師の世界 ―研究とその業績の普及と実践―
	設立30周年 記念特別賞	大場 雅史	横手市立大森病院 副院長	地域医療の確保と推進
2019年	第28回	大仙市立 平和中学校	校長 佐藤 嘉弘	守りと攻めの防災教育で育む自己有用感と地域貢献意欲 ～地域と双方向の関係性を大切にした学校経営～
		大仙市立 太田北小学校	校長 福山 新悦	豊かな人間性を育む「全校音楽劇」の取組
		景観形成作物導入事業 連絡協議会	会長 大屋敷 進	休耕田を有効活用した「たいゆう緑花園」
2020年	第29回	湯沢市立 山田中学校	校長 神林 雅紀	起業学習「YAMACHu コーポレーション」 ふるさと山田の魅力発信による地域(湯沢市)活性化プロジェクト
		「知の和」と「地の輪」で 創る「飯島塾」	塾頭 野中 和郎	職場の第一線を退いた方々を対象に「知の和」と「地の輪」の精神で塾生同士が共に生きがいに繋がる学びあいを通して交流を深めあい活力ある元気な飯島地域の創造に貢献することを目的に活動
		鳥海山の会	会長 多田 厚	山を藩や県など行政区分等で分断せずに、鳥海山の文化遺産と自然の生態系等を視野に入れた総合的な「鳥海山学」の構築を目指す調査・研究と同時に、鳥海山の素晴らしさを発信し、次世代に引き継ぐことを目的に活動

受賞年	回	受賞者	受賞時の役職 (団体は代表者名)	研究・活動テーマ
2021年	第30回	あきた民俗懇話会	代表 齊藤 寿胤	秋田県及び東北地方の民俗に関する研究
		本荘由利地域史研究会	代表 佐藤 俊介	本荘由利地域における地域史等研究及び歴史資料保全活動の実践研究
2022年	第31回	佐藤 由美	中学校教諭	使命感を生む「世界でたった一つの理科研究」指導
		市民おもしろ塾	代表 渡邊 耕佑	幅広い研修・講座を市民に提供する。地元や全国で活動する能代出身の講師を発掘し、発表の場を提供する。能代で「面白く、生き生きと生活していく」。
2023年	第32回	秋田近代史研究会	代表委員 高橋 務	秋田県の近現代史に関する研究
		わくわく科学工房	代表 石橋 研一	子どもも大人も みんなわくわく「身近な科学」
		「能代山本の先人たち」 協賛実行委員会	代表 菊池 保男	「能代山本の先人たち」協働制作と新聞連載
2024年	第33回	酒井 浩	元 小中学校教諭	子どもが育つ自然体験活動 ～もっと子どもたちに自然体験を もっと里地里山の活用を～
		雄勝城・駅家研究会	代表 高橋 学	横手盆地に存在したはずの「雄勝城」の所在地特定と古代の地域社会に及ぼした影響の究明
2025年	第34回	藤里町郷土史愛好会	会長 成田 貴之	藤里町の歴史・文化の研究と、次世代への継承へ向けた情報発信
		ほろわんぱく友の会	会長 高橋 征徳	ふるさとの自然体験が生み出す「学び」をつくる